



## 外国出張報告書

平成 27 年 6 月 9 日

1. 出張国名 ミャンマー
2. 出張月 平成 27 年 5 月
3. 出張目的 水産業実態把握調査と研究ニーズに関する動向調査：D
4. 成果の概要

理事長インセンティブ FS 調査「ミャンマーにおける水産業実態把握調査と研究ニーズに関する動向調査」の一環として、次期中期計画におけるプロジェクト方針を決定するための現地情報を得るため、ミャンマーに出向き水産研究に関わる水産局、漁連、大学等の関係機関を訪問した。各機関の関係者らとの意見交換を通じ、JIRCAS が対応可能な研究ニーズを絞り込み、将来的な共同研究体制の可能性を検討した。また、将来的な研究拠点施設、カウンターパートとなりうる人材についても情報を収集した。現地訪問の結果、既に内陸部での淡水魚養殖は日本の JICA を始め、オーストラリア、韓国といった海外機関がミャンマー水産局との共同プロジェクトを立ち上げていること、ヤンゴンよりも下流のエーヤワディーデルタ地域でもミャンマー水産局とオーストラリアの研究機関が魚類資源管理に関わる共同プロジェクトを実施していることが明らかになった。一方、ミャンマー南部に位置する国内最大の海面漁業都市であるミエックについては、まだ、他国との国際プロジェクトは開始されておらず、水産局の魚類孵化場では日本の技術支援を必要としていること、ミエックに広がる広大なマングローブ域の環境保全を配慮した持続的海面養殖技術の開発の研究ニーズがミャンマー水産局および漁連、地元のみエック大学から挙げられていることが明らかになった。